

【重要】 ホイール・ナット緩み報告様式については、複数回実施も点検結果を1枚にまとめて報告してください。

ホイール・ナットの緩み報告様式

別紙 4

「保有台数」については点検実施時点での台数を記入してください。

保有台数	台	台
------	---	---

回収率

対象は、車両総重量8トン以上のトラックに限る。

大型トラック(被牽引車)を除く

「総走行距離別」と「初度登録年別」の内訳についても記入してください。

(トラックのみ)

点検項目	点検の実施方法	必須記入
		ホイール・ナットの緩み有
ホイール・ボルトの緩み	ホイール・ナットが規定トルク(自動車製作者が定めるトルク値をいう。)で締め付けられているかトルク・レンチを用いるなどにより点検する。 JIS方式のダブル・タイヤの場合は、ホイール・ボルトの半数(1個おき)のアウター・ナットを緩めて、インナー・ナットが規定トルクで締め付けられているかをトルク・レンチを用いるなどにより点検する。次に、緩めたアウター・ナットを規定トルクで締め付ける。その後、ホイール・ボルトの残りの半数のアウター・ナット及びインナー・ナットについても同様の措置を講じる。	台

総走行距離別	初度登録年別
50万 km 未満	H28年以降
50超 ~ 100万 km	H27 ~ H24年
100万 km 超	H23年以前

「ホイール・ナットの緩み有」の欄には、緩みがあった台数を記入してください。
ただし、複数輪及び複数のナットの緩みがあっても1台と計上してください。